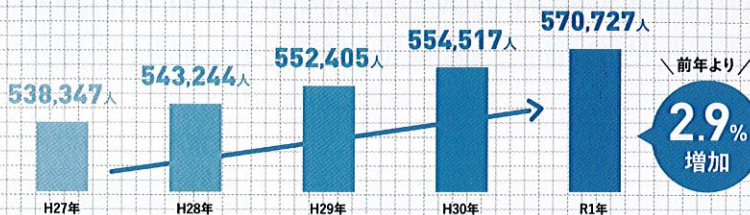


警備員のホントの働き方を徹底解説!

Q1 将来性

警備ってなくなる仕事?

警備の仕事は多岐にわたります。AI、合理化は進んでいますが人こそが安全を守る最後の砦です。実際に警備員の数は、毎年少しずつではありますが増えています。



Q2 技能

武道(柔道や剣道)等の経験者でなければいけないのでは?

警備員の研修には護身術があり、武道経験者である必要はありません。

Q3 働き方/勤務地

毎日違う場所の勤務現場に出勤しなければいけないのでは?

オフィスビルや商業施設など固定の職場や長期のマンションの建築現場など駅近くの現場も多くあります。

Q4 資格/免許

運転免許が無いとできないのでは?

基本必要ありません。免許をお持ちでない方でも新たに警備業務に従事するための研修を受ければ警備員になることができます。



Q5 働き方/コロナ禍

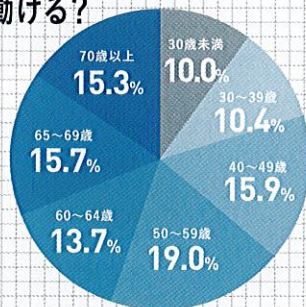
コロナ禍の仕事はどうなるの?

フェイスシールドやこまめな除菌、ソーシャルディスタンスを確保しながら日々働いています。自分の安全も守りつつお客様の安全にも気を配ります。

Q7 働きやすさ/年齢

年齢を重ねても働ける?

警備員の約45%が60歳以上の方です。立ち仕事は、体にとって適度な運動をしている状態。年齢を重ねても、働きながら健康的でいられる仕事なのです。



Q6 働きやすさ/休み

休みはどれくらいとれるの?

最近の警備業界はシフトを自己申告でき有給休暇の取得もしやすくなってきています。

Q8 働きやすさ/女性

女性でも働ける?

女性警備員の年齢別比率は、30歳未満では約18%、50歳代では約27%と、特定の年齢層では比較的多くの女性が活躍しています。また女性ならではの職場(空港や学校)もあります。

警備員に向いている人ってどんな人?

例えばこんな性格の人なら、警備員に向いているかも?

社会の役に立ちたいという奉仕の精神を持っている人

人の言うことを素直に聞ける人

人と話すのが好きな人

自分の持ち場を守るという責任感がある人

人間観察が好きな人

規則をきちんと守ることができる人

